

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|--|---|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 部屋は大幅広く準備し、こどもの人数や発達 の特性、支援内容に応じて部屋を使い分けている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 当園では、言語聴覚士、臨床心理士、保育士、 認定心理士など職種を幅広く雇用し、定員に対する 人数よりも多く勤務している。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか | ○ | | | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | | ○ | | 今年度職員個人内での目標設定や業務改善の 為のシステム作りを重要視して行った。取り組み を始めたという点では、来年度更に重視して実施 したい。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか | ○ | | | ご希望いただいている日数に対して十分に通所 支援のご提供が出来ていないという点で改善が 必要である。今後定員を増やすなどの方法を検討 し、受け入れ枠の確保を行いたい。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか | | | ○ | 新規の取り組みの為、開始したばかりの点では、 いいえに該当する。今後保護者に周知徹底を図り たい。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか | | ○ | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか | ○ | | | 外部研修への参加は数少ないが、内部研修は全 職員対象の研修を定期的に行っている。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 学校生活を評価し、必要なアセスメントを行うよ うに心がけている。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 知能検査、発達検査等の心理検査および言語検 査を用いて発達段階の詳細な評価を行っている。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか | ○ | | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか | | ○ | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画 を作成しているか | ○ | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか | ○ | | | |
| 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、そ の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有しているか | | ○ | | | |
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|---|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | ○ | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 直接支援している職員でなく園長等他の職員が出席する事もある。日頃からの情報共有はもちろんのこと、担当者会議の直前には現状の発達について詳細に共有をして参加ができています。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | | 保護者を通して確実な連絡調整に努めている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | ○ | | 該当しない |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | ○ | | 事前情報については保護者の同意が必要となる為、保護者の意向で情報をいただけない場合があります。しかし、保護者に意図を説明する等、積極的な連携についても模索していきたい。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | ○ | | 学校を卒業し障害福祉サービスへ移行するお子さんの利用実績が無い為、該当しない |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | 発達支援センターとの連携は手薄であるが、各専門職のスタッフは臨床技術の質を維持する為にスーパーバイザーを設け、定期的に助言を受けている。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | ○ | | | 保護者への周知徹底が進んでいないものの、当園では地域との共生教育に力を入れている。地域の小学校に通い、学童を利用しながら通園をする形を取っている為、交流する機会は確保できている。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | ○ | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | | ○ | | 放課後そらいろルームでは、単独通園と親子通園に分かれている。親子通園では、情報共有を行っているものの単独通園では、十分な情報共有には至っていない点では、様子を見ていただく方法を検討して改善を図りたい。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | ○ | | 家族支援プログラムとしては、ポータープログラムやABA、RDI、TEEACH等発達状況に応じた必要な支援を紹介し、家庭で実践できるように紹介している。就学前に比べると家庭での実践が難しい為、より工夫を凝らしたい |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 直接支援の担当だけでなく児童発達管理責任者や園長への相談も適宜行いやすいように工夫をしている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | 現在はイベントへの参加を中心とした関わりに留まっているが、来年度は父母の会も実施予定である。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|--|---|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | ○ | | 該当する利用者様に対しては積極的にお声をかけているものの全利用者への周知という点では取り組みが足りていない。掲示板での周知を積極的に行っていききたい。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | | 個別配慮の観点から、地域の方の広い参加は行えていないが、子ども達を実施するフリーマーケットでは地域の方に参加していただく事ができた。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | ○ | | マニュアルを作成しているものの周知徹底が不十分である為、利用者の方への周知徹底を図りたい。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | | ○ | | 個別配慮の観点から、こども参加型の避難訓練が行えていないものの今後は利用者の同意を得て参加を求めたい。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | 開始時に同意書を取り、実施をする場合には事前に保護者に知らせているものの、周知徹底を図りたい。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | ○ | | 食事の提供を行っていないが、事前にアレルギー等の確認は書面でやっている。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | |